



2013 年度第 3 四半期決算報告書

参考和訳

プレスリリース
2013 年 10 月 31 日、パリ発

株主帰属純利益 14 億ユーロを達成

- 営業収益は粘り強さを発揮
- 当四半期の金利市場取引の減少が影響

事業部門の営業収益：
12 年度第 3 四半期比-2.6%*

継続的な営業費用の抑制

事業部門の営業費用：12 年度第 3 四半期比+0.6%*

リスク費用は当四半期に減少

リスク費用：8 億 9200 万ユーロ（55 ベーシスポイント）
12 年度第 3 四半期比-5.5%

盤石な財務体質

- 非常に高い自己資本比率

バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ TIER 1 比率：10.8%

- 余剰資金はさらに増加

2390 億ユーロ（13 年 9 月末現在）

- 全リテールネットワークを通じた預金の集積は高水準を維持

リテールバンキング部門の預金残高：12 年度第 3 四半期末比+3.8%

* 連結範囲変更および為替レート変動の影響を除く。



2013年10月30日にBNPパリバ取締役会が開催され、ボードゥアン・プロ会長が議長を務めるなか、当グループの2013年度第3四半期の業績が検討されました。

株主帰属純利益 14 億ユーロを達成

2013年度第3四半期において、当グループの業績は底堅く推移しました。

営業収益は 92 億 8700 万ユーロとなり、2012 年度第 3 四半期と比べて 4.2%の減収でした。当四半期の営業収益には、合計-1 億 3800 万ユーロに上る自己負債の再評価に関わる修正額 (Own Credit Adjustment) および債務価値調整額 (Debit Value Adjustment) が含まれています。業態多様化と事業の地理的分散化の恩恵を受け、景気停滞に加え当四半期は金利市場で顧客の取引低迷が影響したにもかかわらず、事業部門合計の営業収益はその粘り強さを証明しました (前年同期比-2.6%¹)。営業収益を事業部門別にみると、リテールバンキング事業²では底堅く推移し (-0.4%¹)、インベストメント・ソリューションズ事業では増収を果たし (+5.0%¹)、コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業では減収となりました (-10.7%¹)。

営業費用は 64 億 2600 万ユーロとなり、前年同期比 2.1%の減少でした。当四半期の営業費用には、Simple & Efficient (簡素化および効率化) 計画に関わる変革のための一時費用 1 億 4500 万ユーロに加え、ユーロ高による影響も含まれています。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、事業部門合計の営業費用は、継続的な経費抑制努力が奏功し 0.6%の微増にとどまりました。これを部門別にみると、リテールバンキング事業²では 1.1%³の減少、インベストメント・ソリューションズ事業では 2.5%¹の増加、CIB 事業では 2.1%¹の増加でした。

これを受け当四半期の営業総利益は前年同期比 8.6%減少し、28 億 6100 万ユーロとなりました。なお、事業部門合計では 7.9%¹の減少でした。

グループのリスク費用は、厳しい経済環境にもかかわらず当四半期において前年同期から 5.5%減少しました。当四半期のリスク費用 8 億 9200 万ユーロは、融資残高の 55bp に相当しました。

営業外損益は、当四半期において 1 億 3900 万ユーロの利益となりました。これに対し、2012 年度第 3 四半期の営業外損益は 1 億 1900 万ユーロの利益でした。

以上から、BNP パリバは当四半期に株主帰属純利益 13 億 5800 万ユーロを計上し、2012 年度第 3 四半期と比べて 2.4%の増益を果たしました。

グループは盤石なバランスシートを有しており、自己資本比率は業界最高水準にあります。バーゼル 3 基準全面適用に基づくエクイティ Tier 1 (普通株式等 Tier 1) 比率⁴は当四半期末において 10.8%に上りました。また、Tier 1 資本全体に基づき算定される、バーゼル 3 全面適用のレバレッジレシオは 3.8%となりました。これは、2018 年 1 月 1 日以降発効のレバレッジ規制が要求する、最低水準の 3.0%を既に上回っています。さらに、グループの即時利用可能な余剰資金は、当四半期に 2390 億ユーロに上りましたが、これは短期資金調達との関係で、1年以上の余裕があることを意味します。

1 株当たり純資産額⁵は当四半期に 62.8 ユーロとなり、2008 年 12 月末からの年平均成長率は 6.1%となりました。これは BNP パリバが、1 株当たり純資産額を成長させ続ける能力を有していることを証明するものです。

さらに、BNP パリバは、グループの機能のしかたを簡素化し業務効率の向上を図る意欲的な計画である Simple & Efficient を速やかに実施しており、認識されたプロジェクトの 88%近くが既に始動しています。2013 年度第 3 四半期累計期間(1-9 月)で実現した経常的なコスト節約は 5 億 4900 万ユーロに上り、これにより 2013 年度の年間目標を既に達成しました。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

² 国内市場部門のプライベート・バンキングの 100%を含み、PEL/CEL の影響を除く。

³ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、かつ Hello bank! 導入費用 (当四半期は 2000 万ユーロ) を除く。

⁴ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4 (CRD4) 規則を考慮し、BNP パリバがこれを適用して算定したエクイティ Tier 1 比率。

⁵ 再評価を含まない。



2013年度第3四半期累計期間（1-9月）において、グループは、厳しい経済環境にもかかわらず底堅い業績を収めました。営業収益は 292 億 5900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 1.4%の減収にとどまりました。当第3四半期累計期間の営業収益には+1 億 6100 万ユーロの一時項目が含まれていたのに対し、前年同期には-12 億ユーロの一時項目が計上されていました。事業部門合計の営業収益は、当第3四半期累計期間において 2.2%¹減少しました。

営業費用は、当第3四半期累計期間において前年同期比 2.6%減少し（事業部門合計では 1.5%¹の減少）、192 億 3100 万ユーロとなりました。その結果、営業総利益は 100 億 2800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 0.9%の微増となりました。

リスク費用は、当第3四半期累計期間において 29 億 7900 万ユーロとなり、前年同期比 8.6%の増加でしたが、前年同期には CIB で計上した多額の貸倒引当金戻入益が含まれていました。

これらを受けて営業利益は 2.0%減少し、70 億 4900 万ユーロとなりました。

営業外損益は当第3四半期累計期間において 3 億 7400 万ユーロの利益でした。対して、前年同期の営業外損益は 20 億 4000 万ユーロの利益でしたが、これにはとりわけクレピエール S.A.に対するグループの 28.7%持分の売却により計上されたキャピタルゲイン 17 億 9000 万ユーロが貢献していました。

当第3四半期累計期間の税引前利益は 74 億 2300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 19.6%の減益でした。なお、当第3四半期累計期間においては 1 億 3200 万ユーロに上る一時項目がマイナス影響を及ぼしたのに対し、前年同期においては 5 億 9000 万ユーロの一時項目がプラス貢献していました。

以上から、BNP パリバは当第3四半期累計期間において 47 億 500 万ユーロの株主帰属純利益を収めました。これは前年同期と比べて 22.2%の減益でしたが、前年同期の純利益には特にクレピエール S.A.に関わる持分売却益が大きく影響していました。

*
* *

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



リテールバンキング事業

国内市場部門

国内市場部門の預金は、全てのネットワークにおいて確かな伸びを示し、当四半期末における預金残高は前年同期から **4.5%**増加しました。一方、融資残高は借入需要が引き続き低迷し、**1.5%**減少しました。国内市場部門における販売およびマーケティング活動の成果は、マス富裕層をターゲットとしたパーソナルサービスである“Priority”（プライオリティ）の成功や（開始後1年で既に **350,000**人以上の顧客を獲得）、Hello bank!（ハロー・バンク!）の新規顧客数の順調な伸びに表れています。なお、Hello bank!は、ドイツ、ベルギーおよびフランスで展開されており、イタリアでは**2013年10月28日**に始動したばかりです。

当四半期の営業収益¹は **39億2700万ユーロ**に上り、前年同期と比べて僅かながらも増収（**+0.7%**）となりました。手数料収入の復調とアルバルからの高い貢献とが相まって、融資残高の減少による影響を相殺しました。国内市場部門は営業費用¹の調整努力を継続した結果、当四半期の営業費用は **25億2100万ユーロ**となり、前年同期と比べて **1.2%**²減少しました。これにより営業収益対コスト比率は全てのネットワークで改善し、国内市場部門全体では **62.1%**³へと低下しました。

これらを受けて当四半期の営業総利益¹は **14億600万ユーロ**に上り、前年同期と比べて **4.2%**²増加しました。

以上から、イタリアにおけるリスク費用の上昇を考慮し、またプライベート・バンキング業務の純利益の **3分の1**を、国内市場部門からインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、当四半期の税引前利益⁴は **9億900万ユーロ**となり、前年同期と比べて **4.7%**²の減益となりました。

フランス国内リテールバンキング（FRB）

フランス国内リテールバンキング（FRB）部門による事業活動の成果は、当四半期において再び預金の着実な伸びに反映され、とりわけ当座預金および普通預金が牽引し、預金残高は前年同期から **3.2%**の増加を果たしました。一方、融資残高は、借入需要の低迷により前年同期末と比べて **1.7%**減少しました。活発な販売およびマーケティング活動は、革新的な企業により良いサービスを提供するための新たなイノベーションハブが開設されたことに表れています。これとは別に、新たなインターネット決済サービスである“Paylib”（ペイリブ）が**9月**に開始されましたが、顧客数は**10月中旬**までには、既に **20,000**人に上っていました。

当四半期の営業収益⁵は **17億3400万ユーロ**に上り、**2012年度第3四半期**と比べて **1.3%**の増収を果たしました。手数料収入が **-0.7%**と若干減少したものの、純利息収入が **2.7%**増加したことが貢献しました。

業務効率が引き続き改善したおかげで、営業費用⁵は当四半期に前年同期比 **0.6%**減少しました。

これを受けて営業総利益⁵は **5億8300万ユーロ**に上り、前年同期比 **5.2%**の増益となりました。

当四半期のリスク費用⁵は、融資残高の **25bp**で依然として低い水準にとどまりました。金額ベースでは、当四半期のリスク費用は前四半期から安定推移し（**200万ユーロ**の増加）、また、とりわけ低い水準であった**2012年度第3四半期**と比べて **2400万ユーロ**の増加でした。

¹ フランス(PEL/CELの影響を除く)、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む。

² Hello bank!の導入費用（2013年度第3四半期は2000万ユーロ）を除く。

³ Hello bank!の導入費用（2013年度1-9月累計期間で4300万ユーロ）を除く。

⁴ PEL/CELの影響を除く。

⁵ PEL/CELの影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む。



以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、FRBの当四半期の税引前利益¹は4億5900万ユーロとなり、前年同期と比べてほぼ横ばいでした。これは、活気を欠く経済環境にあつて着実な業績を収めたといえます。

2013年度第3四半期累計期間(1-9月)において、営業収益²は前年同期と比べて0.8%の減収となりました。その背景には、長引く低金利環境と融資残高の減少を受けて純利息収入が0.7%減少したことに加え、手数料収入が0.9%減少したことがありました。業務効率の継続的な改善を受けて営業費用²が1.4%減少したことにより、営業総利益²は前年同期比0.3%増加し、また、営業収益対コスト比率²は若干の改善により63.2%となりました。リスク費用²が低水準にとどまったことも貢献し、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、FRBの税引前利益¹は当第3四半期累計期間に15億7700万ユーロとなり、前年同期と比べて1.6%の減益でした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) は、当四半期も預金の高い伸びを維持し(2012年度第3四半期末比+9.1%)、預金残高は個人客および法人顧客の両セグメントで増加しました。一方、融資残高は、法人および小規模事業者の顧客セグメントで借入需要の低迷が目立ち、平均で4.4%減少しました。当四半期においてBNL bcのマーケティング活動は大企業向けを強化し、特にグループの充実した商品ラインを活用しました。

当四半期の営業収益³は、2012年度第3四半期と比べて1.6%減少し、7億9700万ユーロとなりました。純利息収入は、マージンが底堅く推移したものの融資残高が減少したことから、前年同期と比べて減少しました。手数料収入は、オフバランス貯蓄商品の好調に加え、法人顧客へのクロスセリングが貢献し、前年同期と比べて増加しました。

営業費用³は、業務効率の改善努力を受けて2012年度第3四半期から1.8%減少し、4億3200万ユーロとなりました。

営業総利益³は当四半期に3億6500万ユーロとなり、前年同期比1.4%の減少でした。

リスク費用³は2012年度第3四半期から25.3%増加し、融資残高の144bp相当となりましたが、2013年度第1四半期および第2四半期からは安定推移しました。

従ってBNL bcは、依然として厳しい経済環境のなか、引き続きビジネスモデルの適応に努めました。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に7300万ユーロとなり、前年同期比47.1%の減益となりました。

2013年度第3四半期累計期間(1-9月)において、営業収益³は前年同期比-0.1%の微減となりました。純利息収入が、特に融資残高縮小の影響を受けて3.3%減少した一方で、手数料収入の6.8%増加が、ほぼこれを打ち消す格好となりました。手数料収入は、とりわけオフバランス貯蓄商品の好調に加え、法人顧客へのクロスセリングが奏功して伸びました。業務効率の改善努力が奏功し、営業費用³は当第3四半期累計期間に前年同期比1.7%減少するとともに、営業収益対コスト比率³が53.8%へと改善しました。ただし、リスク費用³が前年同期比29.5%増加したことから、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の

¹ PEL/CEL の影響を除く。

² PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む。



3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当第3四半期累計期間に2億3200万ユーロとなり、前年同期と比べて43.8%の減益でした。

ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) の事業活動の結果、当四半期に預金残高が前年同期末と比べて3.4%増加しましたが、これにはとりわけ当座預金および普通預金の高い伸びが貢献しました。融資残高は当四半期に1.7%¹増加し、特に個人客への貸出が伸びたことに加え、中小企業 (SME) 向け融資が底堅く推移したことが寄与しました。BRBの活発な販売およびマーケティング活動は、零細企業やSMEを支援するキャンペーン (当該顧客セグメントを対象に、新規融資で10億ユーロを充当) が順調なスタートを切ったことに表れています。これにより、2013年9月末までに6億4000万ユーロの融資が既に承認されています。さらに、“Belgian Mobile Wallet” (ベルジャン・モバイル・ウォレット) の近日中の開始が予定されていますが、これはモバイル決済サービスと顧客リレーション管理を組み込んだ画期的なソリューションです。

当四半期の営業収益²は、2012年度第3四半期と比べて0.4%¹増加し、8億4200万ユーロとなりました。純利息収入が、長引く低金利環境に沿うかたちで若干減少した一方で、手数料収入は、金融取引の復調を受けて増加しました。

意欲的な取り組みである“Bank for the Future” (バンク・フォア・ザ・フューチャー) 計画の一環として実施された、業務効率改善努力が奏功したことにより、当四半期の営業費用²は2012年度第3四半期と比べて0.9%¹減少し、6億1100万ユーロとなりました。これにより当四半期の営業総利益²は前年同期比4.0%¹増加しました。

当四半期のリスク費用²は、融資残高の14bp相当で特に低い水準となりました。また、同費用は、2012年度第3四半期からほぼ横ばい (300万ユーロの増加) にとどまりました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BRBの税引前利益は1億8700万ユーロとなり、前年同期と比べて0.8%¹の増益を果たしました。

2013年度第3四半期累計期間 (1-9月) において、営業収益²は+0.5%と、僅かに増収となりました。純利息収入は長引く低金利環境を受けて減少したものの、好調なオフバランス貯蓄商品の手数料増に加え金融手数料が健闘したことから、これを相殺しました。業務効率改善策が奏功し、営業費用は当第3四半期累計期間に0.4%²減少したことから、営業収益対コスト比率²は72.5%へと改善しました。その結果、営業総利益²は前年同期と比べて3.0%増加しました。リスク費用²は当第3四半期累計期間に10.4%減少しました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BRBの税引前利益は当第3四半期累計期間に5億5300万ユーロとなり、前年同期と比べて2.6%の増益を果たしました。

ルクセンブルク国内リテールバンキング： 融資残高は、住宅ローンの高い伸びが牽引し、当四半期に前年同期から1.9%増加しました。また、特に法人顧客セグメントにおいて旺盛な資金流入が貢献し、預金残高も確かな伸びを示しました (+4.4%)。営業費用の抑制努力が功を奏し、営業収益対コスト比率は当四半期に僅かに改善しました。

個人投資家部門： 当四半期において運用資産残高は、活発な販売およびマーケティング努力のおかげで、2012年9月末現在の水準と比べて9.3%の増加を果たしました。預金残高は、順調な新規顧客の獲得に加えドイツでのHello bank!の展開を受けて、当四半期に急増しました (前年同期末比+17.3%)。当四半期の営業収益は、仲介業務および預金の伸びにより、前年同期から増収となりました。営業費用が減少したことから、当四半期の営業総利益は大幅増となりました。

¹ 連結範囲変更による影響を除く。

² ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む。



アルバル：連結ベースのリース資産残高は、当四半期に微減となりました（前年同期末比-0.6%¹）。それでも営業収益は、中古車価格の上昇が牽引し、前年同期から増収となりました。営業費用が減少したことから、営業総利益は2012年度第3四半期と比べて急増しました。

リーシング・ソリューションズ：リース資産残高は、当四半期において前年同期末比 5.5%¹ 減少しましたが、これはノンコア資産を調整する事業適応計画に沿ったものです。ただし、取引の収益性を重視する選択的な方針のおかげで、リース資産残高の減少が当四半期の営業収益に及ぼした影響は限定的でした。確かなコスト管理が奏功し、当四半期の営業収益対コスト比率は、前年同期から改善しました。

全体では、これら4つのビジネスユニットによる国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分し、かつHello bank!の導入費用を含めた後、当四半期に1億9000万ユーロに上り、前年同期比8.2%²の増加を果たしました。

2013年度第3四半期累計期間（1-9月）において、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分し、かつHello bank!の導入費用を含めた後、これら4つのビジネスユニットによる国内市場部門の税引前利益への貢献は、合計6億2400万ユーロに上り、2012年度第3四半期累計期間と比べて9.0%²増加しました。

*
* *

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国は、当四半期においても積極的な販売およびマーケティング活動を展開しました。預金残高は2012年度第3四半期から10.7%¹増加し、しかもほとんどの国で増加が確認されましたが、とりわけトルコが好調でした（+16.8%¹）。融資残高は9.0%¹増加し、トルコでの大幅増（+23.9%¹）がこれを牽引しました。

当四半期の営業収益は4億600万ユーロとなり、2012年度第3四半期と比べて2.4%¹の増収にとどまりました。営業収益に影響した要因として、トルコで当座貸越の課金に関する新規制が、またアルジェリアで為替手数料に関する新規制が導入されたことが挙げられ、当四半期で合計2500万ユーロ相当の営業収益が失われました。

営業費用は、当四半期に前年同期比8.5%¹増加し、3億1300万ユーロとなりました。とりわけトルコでの支店網拡充により費用が17.6%¹増加したことが影響していますが、これがウクライナでの業務効率改善効果を打ち消す格好となりました。

リスク費用は4800万ユーロとなり、融資残高の78bp相当でした。当四半期のリスク費用は2012年度第3四半期から1800万ユーロ減少し、また前四半期からは安定推移（500万ユーロの減少）しました。以上から、欧州・地中海沿岸諸国部門は当四半期に税引前利益7100万ユーロを収め、前年同期から5.3%¹の減益となりました。

2013年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益は、トルコでの快挙（+22.6%¹）を受けて、前年同期比10.0%¹の増収となりました。営業費用は5.0%¹増加しました。トルコでの事業投資から、とりわけ同国での営業費用の15.4%¹増が押し上げ要因となりましたが、ポーランドおよびウクライナでは業務効率改善策のおかげで減少しました。これを受けて営業収益対コスト比率は、前年同期比2.9ポイントの改善

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

² Hello bank!の導入費用を除く。



により 71.2%へと低下しました。リスク費用が 8.2%¹ 減少したことに加え、2013 年度第 2 四半期に売却した BNP パリバ・エジプトからのキャピタルゲイン 1 億 700 万ユーロ² が貢献し、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は前年同期比+58.8%¹ の大幅増益となり、4 億 400 万ユーロに上りました。

バンクウエスト

バンクウエストの預金残高は、当四半期に 2012 年度第 3 四半期末と比べて 3.4%¹ 増加しましたが、特に当座預金および普通預金が着実に伸びました。融資残高は、法人顧客向けの体制強化が奏功し、当該セグメントへの融資が高い伸び(+8.2%¹) を示したことから、全体では 3.2%¹ 増加しました。このような業務展開の好調さはまた、次の分野でも表れていました。すなわち、プライベート・バンキング部門の体制拡充により、運用資産残高が 2013 年 9 月末現在で 65 億米ドルへと増加しました(2012 年 9 月末比 35%増)。また、モバイルバンク・サービスの成長により、利用者は現在 207,000 人を数え、2013 年 6 月末から 11%増加しました。

当四半期の営業収益は 5 億 5600 万ユーロとなり、2012 年度第 3 四半期と比べて 4.5%¹ の減収となりました。これには、貸付債権売却によるキャピタルゲインが前年同期よりも減少したことに加え、低金利環境によるマイナス影響が作用していました。

営業費用は当四半期に 3 億 4900 万ユーロとなり、前年同期と比べて 3.3%¹ 増加しました。プライベート・バンキング業務だけでなく、小規模事業者および法人向け業務拡充のための投資が増加要因となりました。

リスク費用は、当四半期に計上された少額の貸倒引当金繰入額を戻入額が完全に相殺したため、ゼロとなりました(2012 年度第 3 四半期からは 3400 万ユーロの減少)。

以上から、バンクウエストは当四半期において 2 億 800 万ユーロの税引前利益を収めました。これは 2012 年度第 3 四半期と比べて 3.8%¹ の減益となりました。

2013 年度第 3 四半期累計期間(1-9 月)において、営業収益は、長引く低金利環境の影響とキャピタルゲインの減少から、前年同期比 4.0%¹ の減収となりました。営業費用は、プライベート・バンキングの組織強化に加え、小規模事業者および法人顧客業務に関わる事業投資を受けて、前年同期比 2.9%¹ 増加しました。そのため、営業収益対コスト比率は 4.3 ポイント上昇し 62.3%となりました。リスク費用が当第 3 四半期累計期間に激減したため(-65.0%¹)、税引前利益は 5 億 9800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 4.7%¹ の減益でした。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス部門の融資残高は、当四半期に 2012 年度第 3 四半期末と比べて 3.0%¹ 減少し、856 億ユーロとなりました。消費者ローン残高の減少は 0.1%¹ の微減にとどまりましたが、住宅ローン残高は、バーゼル 3 基準に向けた事業適応計画に沿ったかたちで 6.6%¹ 減少しました。コーラ(Cora)との業務提携を推進した結果、40 万を越す顧客の融資および残高管理業務が 10 月上旬に引き継がれました。また、9 月以降、パーソナル・ファイナンスとロシアのズベルバンクとの合弁会社はその事業活動を拡大しており、ズベルバンクは提携を通して構築した自動車ローン業務を移管しました。

当四半期の営業収益は、2012 年度第 3 四半期と比べて 3.1%¹ 減少し、11 億 6600 万ユーロとなりました。事業適応計画の一環として住宅ローン残高が減少するとともに、消費者ローンからの営業収益は、フランス

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

² コーポレート・センターで計上された為替差損 -3000 万ユーロを含まないことに注意。



国内で規制強化のあおりを受けました。ただし、ドイツおよびベルギーでは、営業収益が勢いづきました。

営業費用は、事業適応計画の効果が発揮されて、当四半期に前年同期比 7.5%¹ 減少し 5 億 1800 万ユーロとなりました。

リスク費用は当四半期に 3 億 3900 万ユーロへと減少し（前年同期から 2500 万ユーロの減少）、融資残高の 158bp 相当となりました。

以上から、パーソナル・ファイナンス部門の税引前利益は、当四半期に 3 億 2200 万ユーロ（前年同期比 5.3%¹ の増益）となり、当ビジネスユニットの確かな利益創出能力を証明しました。

2013 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益は前年同期と比べて 0.4%¹ 減少しました。これにはとりわけ、事業適応計画に沿った住宅ローン残高の縮小に加え、消費者ローン業務がフランス国内の規制によるマイナス影響を受けたことが作用していました。ただし、消費者ローンは、ドイツ、ベルギーおよび中欧で、営業収益が勢いづきました。営業費用は事業適応計画の効果が発揮されて 6.0%¹ 減少し、その結果、営業収益対コスト比率は 45.3% となりました。リスク費用に関しては、前年同期に一過性の貸倒引当金戻入益が計上されていた反動で、当第 3 四半期累計期間においては 5.0%¹ 増加しました。以上から、税引前利益は 9 億 600 万ユーロとなり、前年同期比 2.7%¹ の増益を果たしました。

*
* *

インベストメント・ソリューションズ事業

運用資産残高²は 2013 年 9 月末現在で 8740 億ユーロに上り、2012 年 9 月末の水準と比べて 1.4% の減少でしたが、2013 年 6 月末との比較では横ばいでした。当四半期の運用パフォーマンス効果（+173 億ユーロ）は、第 3 四半期中の株式相場の上昇を受けて極めて良好でした。為替変動の影響は、ユーロ高でマイナス効果（-61 億ユーロ）となりました。さらに、資産運用事業開発計画の一環として事業ポートフォリオの調整を行ったことにより、-37 億ユーロ相当のマイナス影響がありました。

当四半期に資産運用部門で資金の純流出（-32 億ユーロ）が起りましたが、とりわけ債券ファンドからの流出が顕著でした。ただし、富裕層向け資産運用部門では高水準の資金流入があり、特に国内市場およびアジアがその恩恵を受けました。また、保険部門への資金流入も旺盛で、イタリア、台湾および韓国が好成績を上げました。

2013 年 9 月末現在、インベストメント・ソリューションズ事業の運用資産残高²の内訳は以下のとおりです：資産運用部門は 3680 億ユーロ；富裕層向け資産運用部門は 2790 億ユーロ；保険部門は 1750 億ユーロ；個人投資家部門は 380 億ユーロ；不動産管理部門は 130 億ユーロ。

インベストメント・ソリューションズ事業の営業収益は、当四半期に 15 億 4300 万ユーロに上り、2012 年度第 3 四半期と比べて 5.0%¹ の増収となりました。保険部門の営業収益は、貯蓄の高い伸びを享受し 6.2%¹ 増加しました。富裕層向け資産運用部門の営業収益は、資産運用部門で期中平均残高が減少したにもかかわらず、全体では 3.8%¹ の増収を果たしました。証券管理部門の営業収益は、取引件数および預かり資産の増加で 5.5%¹ の増収となりました。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

² 外部顧客のためのアドバイザー契約資産、分配金、および個人投資家部門を含む。



インベストメント・ソリューションズ事業の営業費用は、当四半期に 10 億 7300 万ユーロとなり、前年同期比 2.5%¹ 増加しました。これを部門別にみると次のようになります。保険部門では、事業の成長に伴い営業費用は 2.0%¹ 増加しました。富裕層向け資産運用部門では、資産運用部門での事業開発計画に基づく選択的な投資の影響を受けて 3.7%¹ 増加しました。証券管理部門では、業務効率改善策が奏功し 0.6%の微増に抑えられました。

インベストメント・ソリューションズ事業の営業総利益は、当四半期に 4 億 7000 万ユーロとなり、前年同期比 11.4%¹ の増加を果たしました。

以上より、国内市場部門からプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、インベストメント・ソリューションズ事業の税引前利益は、2012 年度第 3 四半期と比べて+8.1%¹ の順調な伸びを示し、5 億 600 万ユーロに上りました。これは、当事業部門の高い運用能力と業務効率の向上を証明するものです。

2013 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、インベストメント・ソリューションズ事業の営業収益は前年同期と比べて 2.2%の増収となりました。これを部門別にみると、保険部門が 8.3%の増収で貢献し、また、証券管理部門では 0.4%の増収でした。一方、富裕層向けおよび資産運用部門では、資産運用部門の期中平均残高の減少が影響し、1.1%の減収となりました。営業費用は、全体では前年同期から安定推移しました。部門別では、保険部門で事業の成長に伴い営業費用が 5.6%増加しました。これを相殺するように、富裕層向けおよび資産運用部門では営業費用が 2.0%減少し、また、証券管理部門ではコスト管理が奏功し 1.2%減少しました。その結果、営業収益対コスト比率は当第 3 四半期累計期間に 1.5 ポイント低下し、67.8%へと改善しました。以上から、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は 16 億 1100 万ユーロに上り、前年同期と比べて 6.8%の増益を果たしました。

*
* *

コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業

コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業の営業収益は、当四半期に 20 億 3300 万ユーロとなり、2012 年度第 3 四半期と比べて 10.7%¹ の減収でした。前年同期に実施された資産売却による影響 (正味 - 6500 万ユーロ) を除くと、当四半期の減収幅は 13.2%¹ になります。

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は、当四半期に 12 億 6400 万ユーロとなり、前年同期比 15.5%¹ の減収でした。株式およびアドバイザー業務が好調であった一方で、フィクスト・インカム業務で顧客取引が減少したあおりを受けました。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、当四半期に 7 億 8000 万ユーロとなり、前年同期比 27.1%¹ の減収でした。なお、2012 年度第 3 四半期は、欧州中央銀行が国債買い入れプログラムである **Outright Monetary Transactions (OMT)** を発表したことによる恩恵を受けていました。当四半期において、顧客取引低迷の影響を受けたのは主に金利業務であり、一方、クレジット業務は好成績を上げました。当ビジネスユニットは、ユーロ建て全社債で第 2 位にランクインするとともに、全ての国際債券発行で第 8 位を獲得し、当四半期においても債券発行業務におけるリーダー的地位を確認しました。

株式およびアドバイザー業務の営業収益は、当四半期に 4 億 8400 万ユーロに上り、前年同期比 13.7%¹ の増収を果たしました。これにはとりわけ、欧州を始めとする株式市場で顧客の取引が活発化したことに加え、仕組商品が好調であったことが貢献しました。当ビジネスユニットはまた、欧州におけるエクイティリンク債でブックランナー第 3 位を獲得し、エクイティリンク債でのリーダー的地位を確認しました。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



コーポレートバンキング業務の営業収益は、当四半期も引き続き 2012 年度事業適応計画の影響を受けており、融資残高の縮小（前年同期末比-10.9%）に伴い、前年同期から 9.3%¹ 減収の 7 億 6900 万ユーロとなりました。ただしアジアでは、事業開発計画の実施に伴い増収となりました。

当ビジネスユニットは、欧州におけるシンジケートローンでブックランナーのリーダー的地位を確認し、主要な市場セグメントで上位に入るとともに、当四半期においても「オリジネート・トゥ・ディストリビュート」アプローチに基づく取引を開発しました。融資残高は 2013 年 9 月末現在で 1022 億ユーロに上り、2013 年 6 月末から安定推移しました。預金残高は当四半期末に 588 億ユーロとなり、2012 年度第 3 四半期末と比べて 10.3%増加しました。これには預金の集積努力の強化とキャッシュマネジメント業務の発展が貢献しました。キャッシュマネジメントは、法人顧客部門で世界第 4 位にランクイン（出所：Euromoney）するとともに、重要なマニデートを複数獲得することにより、業界での地位を高めました。

CIB の営業費用は当四半期に 14 億 3100 万ユーロとなり、2012 年度第 3 四半期と比べて 2.1%² 増加しました。事業開発に関わる投資（特にアジア、北米、およびキャッシュマネジメント業務において）に加え、システミックリスク税の増加が負担となりました。

CIB のリスク費用は、当四半期に 6200 万ユーロの低水準となり、前年同期から 1 億 2800 万ユーロ減少しました。コーポレートバンキング業務では、当四半期のリスク費用は融資残高の 31bp 相当となりました。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に 5 億 5200 万ユーロで、前年同期と比べて 22.0%² の減益となりました。

2013 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、CIB の営業収益は前年同期と比べて 12.6%² 減少し、65 億 9800 万ユーロとなりました。アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット業務では、フィクスト・インカム業務の市場環境がマイナスに作用し、営業収益は 14.0%² 減少しました。コーポレートバンキング業務の営業収益は、2012 年度事業適応計画の一環として縮小した融資残高に沿うかたちで、12.0%³ の減収となりました。営業費用は、当第 3 四半期累計期間において前年同期比 5.0%² 減少しました。これは、特にアジア、北米、およびキャッシュマネジメント業務で事業開発投資が負担となったものの、Simple & Efficient 計画の効果がそれを上回って発揮されたことによるものです。その結果、CIB の営業収益対コスト比率は、当累計期間に 67.1%になりました。リスク費用は 3 億 4800 万ユーロで、2012 年度第 3 四半期累計期間の 2 億 8700 万ユーロと比べて上昇しました。ただし、前年同期のリスク費用は、多額の貸倒引当金戻入益が計上された影響で低水準でした。以上から、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は 18 億 5500 万ユーロとなり、前年同期と比べて 30.0%² の減益でした。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの当四半期の営業収益は -2 億 3900 万ユーロとなり、これに対し前年同期は -3 億 6600 万ユーロでした。当四半期の営業収益に影響した主な要因として、自己負債の再評価に関わる修正額および債務価値調整額が -1 億 3800 万ユーロであったのに対し（前年同期は-7 億 7400 万ユーロ）、プリンシパル・インベストメンツによる多額のプラスの貢献、および中央銀行預け金に関わる負担がありました。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、2012 年度第 3 四半期の資産売却による影響（正味-6500 万ユーロ）を除く。

² 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

³ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、2012 年度第 3 四半期累計期間の資産売却による影響（正味-6400 万ユーロ）を除く。



また、前年同期の営業収益には、カーディフ・ヴィタおよびフォルティスの銀行勘定に関わる公正価値調整額の償却額 5 億 7900 万ユーロが含まれていました（うち、4 億 2700 万ユーロは一時項目）。

営業費用は当四半期に 2 億 7900 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 2 億 6300 万ユーロでした。当四半期の営業費用には Simple & Efficient 計画に関わる変革費用 1 億 4500 万ユーロが含まれています（前年同期には事業再編費用として 6600 万ユーロを計上）。

当四半期のリスク費用は、純額で 600 万ユーロの貸倒引当金戻入益となりました（前年同期は、純額で 6200 万ユーロの戻入益）。営業外損益は当四半期に 4300 万ユーロの利益となりました（前年同期は 2000 万ユーロの損失）。

以上から、コーポレート・センターの当四半期の税引前損益は 4 億 6900 万ユーロの損失となり、対して、前年同期は 5 億 8700 万ユーロの損失でした。

2013 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、コーポレート・センターの営業収益は -2 億 6300 万ユーロとなり、これに対し前年同期は -10 億 1900 万ユーロでした。当第 3 四半期累計期間の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額および債務価値調整額が -5700 万ユーロ（前年同期は -13 億 3100 万ユーロ）、ロイヤルパーク・インベストメンツの資産処分による売却益が 2 億 1800 万ユーロ、および中央銀行預け金のマイナス影響が含まれていました。前年同期の営業収益にはまた、カーディフ・ヴィタおよびフォルティスの銀行勘定に関わる公正価値調整額の償却額 +9 億 900 万ユーロに加え、ソブリン債の売却損 -2 億 3200 万ユーロが含まれていました。

コーポレート・センターの営業費用は当第 3 四半期累計期間に 7 億 2400 万ユーロとなり、前年同期の 5 億 9500 万ユーロからの増加でした。当累計期間の営業費用には、Simple & Efficient 計画に関わる変革費用 3 億 7400 万ユーロが含まれていました。対して、前年同期の営業費用には、事業再編費用 2 億 3500 万ユーロが含まれていました。

リスク費用に関しては、当第 3 四半期累計期間は純額で 2800 万ユーロの貸倒引当金戻入益が計上されました。対して、前年同期は純額で 3500 万ユーロの貸倒引当金戻入益でした。

営業外損益は当第 3 四半期累計期間に -4100 万ユーロの損失となりました。対して、前年同期の営業外損益は 17 億 1500 万ユーロの利益でしたが、これにはクレピエールに対する 28.7% 持分を売却したことによるキャピタルゲイン 17 億 9000 万ユーロが特に影響していました。

税引前損益は当第 3 四半期累計期間に -10 億ユーロの損失となりましたが、対して前年同期は 1 億 3600 万ユーロの利益でした。

*
* *

財務構造

BNP パリバグループは、銀行業界で最も盤石なバランスシートを有する銀行の一つに入ります。

2013 年 9 月末現在、バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率¹は 10.8% となり、2013 年 6 月末と比べて 40bp の改善でした。これには主に次の要因が影響しています：前年度の配当性向を適用する通常の仮定に基づき計算した、2013 年度第 3 四半期の純利益による貢献 (+15bp)、および、主に市場取引に関

¹ 経過措置なしで全ての CRD4（資本要求指令 4）規則を BNP パリバが適用した結果であり、CRD4 の内容は一部解釈に依存するところがある。



わるリスクの低下から、リスク加重資産圧縮による効果(+20bp)。これは、新たな規制環境にあっても、当グループが極めて高い自己資本比率を確保していることを示しています。

Tier 1 資本全体に基づき算定される、バーゼル 3 基準全面適用のレバレッジレシオ¹は、2013 年 9 月末現在で 3.8%に達し、2018 年 1 月 1 日以降に規制上要求される、最低水準の 3.0%を既に上回っています。

グループの即時利用可能な余剰資金は、当四半期末現在で 2390 億ユーロに上りました（対して、2013 年 6 月末現在は 2360 億ユーロ）。これは短期のホールセール資金の 155%に相当し、また、1 年以上、資金に余裕ができることを意味します。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「BNP パリバグループは、底堅い営業収益や継続的なコスト抑制努力に加えリスク費用の低下を受けて、当四半期に 14 億ユーロの純利益を収めました。

極めて高い自己資本比率と余剰資金の増加を伴う盤石な財務体質を背景に、グループは、2014 年初頭に発表予定の『2014-2016 年度事業開発計画』の準備を進めています。

従業員の献身に支えられて、BNP パリバグループは積極的に実体経済への資金供給を行うとともに、世界各国の顧客をサポートしています。」

¹ 経過措置なしで全ての CRD4（資本要求指令 4）規則を BNP パリバが適用した結果であり、CRD4 の内容は一部解釈に依存するところがある。



連結損益計算書

	3Q13	3Q12	3Q13 / 3Q12	2Q13	3Q13/ 2Q13	9M13	9M12	9M13 / 9M12
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	9,287	9,693	-4.2%	9,917	-6.4%	29,259	29,677	-1.4%
営業費用および減価償却費	-6,426	-6,562	-2.1%	-6,291	+2.1%	-19,231	-19,742	-2.6%
営業総利益	2,861	3,131	-8.6%	3,626	-21.1%	10,028	9,935	+0.9%
リスク費用	-892	-944	-5.5%	-1,109	-19.6%	-2,979	-2,742	+8.6%
営業利益	1,969	2,187	-10.0%	2,517	-21.8%	7,049	7,193	-2.0%
関連会社損益	126	88	+43.2%	71	+77.5%	232	361	-35.7%
その他営業外項目	13	31	-58.1%	112	-88.4%	142	1,679	-91.5%
営業外損益	139	119	+16.8%	183	-24.0%	374	2,040	-81.7%
税引前利益	2,108	2,306	-8.6%	2,700	-21.9%	7,423	9,233	-19.6%
法人税	-609	-737	-17.4%	-771	-21.0%	-2,201	-2,580	-14.7%
少数株主帰属純利益	-141	-243	-42.0%	-166	-15.1%	-517	-608	-15.0%
株主帰属純利益	1,358	1,326	+2.4%	1,763	-23.0%	4,705	6,045	-22.2%
営業収益対コスト比率	69.2%	67.7%	+1.5 pt	63.4%	+5.8 pt	65.7%	66.5%	-0.8 pt

BNP パリバの 2013 年度第 3 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2013 年度第 3 四半期 — コア事業部門別業績

	リテール バンキング 事業	インベストメ ント・ソリュー ションズ 事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	5,950	1,543	2,033	9,526	-239	9,287
対前年同期比	-3.4%	+1.8%	-14.6%	-5.3%	-34.7%	-4.2%
対前四半期比	-3.7%	-3.4%	-3.4%	-3.6%	n.s.	-6.4%
営業費用および減価償却費	-3,643	-1,073	-1,431	-6,147	-279	-6,426
対前年同期比	-2.7%	-0.4%	-3.0%	-2.4%	+6.1%	-2.1%
対前四半期比	-0.2%	+0.8%	+1.9%	+0.5%	+62.2%	+2.1%
営業総利益	2,307	470	602	3,379	-518	2,861
対前年同期比	-4.5%	+7.1%	-33.5%	-10.1%	-17.6%	-8.6%
対前四半期比	-8.7%	-12.0%	-13.9%	-10.1%	n.s.	-21.1%
リスク費用	-837	1	-62	-898	6	-892
対前年同期比	+2.1%	-75.0%	-67.4%	-10.7%	-90.3%	-5.5%
対前四半期比	-7.7%	n.s.	-69.9%	-20.3%	-66.7%	-19.6%
営業利益	1,470	471	540	2,481	-512	1,969
対前年同期比	-7.9%	+6.3%	-24.5%	-9.9%	-9.7%	-10.0%
対前四半期比	-9.2%	-9.4%	+9.5%	-5.7%	n.s.	-21.8%
関連会社損益	50	34	9	93	33	126
その他営業外項目	-1	1	3	3	10	13
税引前利益	1,519	506	552	2,577	-469	2,108
対前年同期比	-9.2%	+1.6%	-23.7%	-10.9%	-20.1%	-8.6%
対前四半期比	-14.8%	-10.3%	+11.1%	-9.4%	n.s.	-21.9%

	リテール バンキング 事業	インベストメ ント・ソリュー ションズ 事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	5,950	1,543	2,033	9,526	-239	9,287
前年同期	6,162	1,516	2,381	10,059	-366	9,693
前四半期	6,176	1,598	2,104	9,878	39	9,917
営業費用および減価償却費	-3,643	-1,073	-1,431	-6,147	-279	-6,426
前年同期	-3,746	-1,077	-1,476	-6,299	-263	-6,562
前四半期	-3,650	-1,064	-1,405	-6,119	-172	-6,291
営業総利益	2,307	470	602	3,379	-518	2,861
前年同期	2,416	439	905	3,760	-629	3,131
前四半期	2,526	534	699	3,759	-133	3,626
リスク費用	-837	1	-62	-898	6	-892
前年同期	-820	4	-190	-1,006	62	-944
前四半期	-907	-14	-206	-1,127	18	-1,109
営業利益	1,470	471	540	2,481	-512	1,969
前年同期	1,596	443	715	2,754	-567	2,187
前四半期	1,619	520	493	2,632	-115	2,517
関連会社損益	50	34	9	93	33	126
前年同期	47	41	15	103	-15	88
前四半期	54	36	3	93	-22	71
その他営業外項目	-1	1	3	3	10	13
前年同期	29	14	-7	36	-5	31
前四半期	109	8	1	118	-6	112
税引前利益	1,519	506	552	2,577	-469	2,108
前年同期	1,672	498	723	2,893	-587	2,306
前四半期	1,782	564	497	2,843	-143	2,700
法人税						-609
少数株主帰属純利益						-141
株主帰属純利益						1,358



2013 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) - コア事業部門別業績

(単位:百万ユーロ)		リテール	インベストメ	コーポレート	事業部門 合計	その他業務	グループ合計
		バンキング 事業	ント・ソリュー ションズ 事業	バンキング・ 投資銀行 事業			
営業収益		18,220	4,704	6,598	29,522	-263	29,259
	対前年同期比	-0.8%	+2.2%	-14.7%	-3.8%	-74.2%	-1.4%
営業費用および減価償却費		-10,890	-3,191	-4,426	-18,507	-724	-19,231
	対前年同期比	-2.5%	-0.0%	-7.5%	-3.3%	+21.7%	-2.6%
営業総利益		7,330	1,513	2,172	11,015	-987	10,028
	対前年同期比	+1.9%	+7.2%	-26.3%	-4.6%	-38.8%	+0.9%
リスク費用		-2,639	-20	-348	-3,007	28	-2,979
	対前年同期比	+6.4%	+100.0%	+21.3%	+8.3%	-20.0%	+8.6%
営業利益		4,691	1,493	1,824	8,008	-959	7,049
	対前年同期比	-0.4%	+6.6%	-31.5%	-8.7%	-39.3%	-2.0%
関連会社損益		154	105	27	286	-54	232
その他営業外項目		112	13	4	129	13	142
税引前利益		4,957	1,611	1,855	8,423	-1,000	7,423
	対前年同期比	+1.2%	+6.8%	-31.1%	-7.4%	n.s.	-19.6%
法人税							-2,201
少数株主帰属純利益							-517
株主帰属純利益							4,705



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
グループ							
営業収益	9,287	9,917	10,055	9,395	9,693	10,098	9,886
営業費用および減価償却費	-6,426	-6,291	-6,514	-6,801	-6,562	-6,335	-6,845
営業総利益	2,861	3,626	3,541	2,594	3,131	3,763	3,041
リスク費用	-892	-1,109	-978	-1,199	-944	-853	-945
営業利益	1,969	2,517	2,563	1,395	2,187	2,910	2,096
関連会社損益	126	71	35	128	88	119	154
その他営業外項目	13	112	17	-377	31	-42	1,690
税引前利益	2,108	2,700	2,615	1,146	2,306	2,987	3,940
法人税	-609	-771	-821	-481	-737	-915	-928
少数株主帰属純利益	-141	-166	-210	-146	-243	-222	-143
株主帰属純利益	1,358	1,763	1,584	519	1,326	1,850	2,869
営業収益対コスト比率	69.2%	63.4%	64.8%	72.4%	67.7%	62.7%	69.2%



(単位: 百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
リテールバンキング (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く							
営業収益	6,055	6,247	6,200	6,154	6,212	6,246	6,248
営業費用および減価償却費	-3,701	-3,710	-3,653	-3,865	-3,801	-3,763	-3,772
営業総利益	2,354	2,537	2,547	2,289	2,411	2,483	2,476
リスク費用	-838	-908	-897	-1,024	-822	-832	-827
営業利益	1,516	1,629	1,650	1,265	1,589	1,651	1,649
営業外損益	50	163	54	103	76	51	60
税引前利益	1,566	1,792	1,704	1,368	1,665	1,702	1,709
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-56	-55	-57	-51	-48	-53	-56
リテールバンキング税引前利益	1,510	1,737	1,647	1,317	1,617	1,649	1,653
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	33.0	33.2	33.1	33.7	33.7	33.7	34.0
(単位: 百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
リテールバンキング (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	5,950	6,176	6,094	6,160	6,162	6,084	6,115
営業費用および減価償却費	-3,643	-3,650	-3,597	-3,807	-3,746	-3,707	-3,718
営業総利益	2,307	2,526	2,497	2,353	2,416	2,377	2,397
リスク費用	-837	-907	-895	-1,025	-820	-833	-827
営業利益	1,470	1,619	1,602	1,328	1,596	1,544	1,570
営業外損益	49	163	54	102	76	51	60
税引前利益	1,519	1,782	1,656	1,430	1,672	1,595	1,630
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	33.0	33.2	33.1	33.7	33.7	33.7	34.0
(単位: 百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
国内市場 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く							
営業収益	3,927	3,973	3,989	3,845	3,901	3,961	4,023
営業費用および減価償却費	-2,521	-2,477	-2,433	-2,593	-2,532	-2,494	-2,468
営業総利益	1,406	1,496	1,556	1,252	1,369	1,467	1,555
リスク費用	-451	-465	-423	-470	-358	-381	-364
営業利益	955	1,031	1,133	782	1,011	1,086	1,191
関連会社損益	11	14	12	8	11	10	11
その他営業外項目	-1	-2	1	-5	1	0	3
税引前利益	965	1,043	1,146	785	1,023	1,096	1,205
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-56	-55	-57	-51	-48	-53	-56
国内市場税引前利益	909	988	1,089	734	975	1,043	1,149
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	20.3	20.5	20.6	21.2	21.2	21.3	21.5
(単位: 百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
国内市場 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,822	3,902	3,883	3,851	3,851	3,799	3,890
営業費用および減価償却費	-2,463	-2,417	-2,377	-2,535	-2,477	-2,438	-2,414
営業総利益	1,359	1,485	1,506	1,316	1,374	1,361	1,476
リスク費用	-450	-464	-421	-471	-356	-382	-364
営業利益	909	1,021	1,085	845	1,018	979	1,112
関連会社損益	10	14	12	7	11	10	11
その他営業外項目	-1	-2	1	-5	1	0	3
税引前利益	918	1,033	1,098	847	1,030	989	1,126
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	20.3	20.5	20.6	21.2	21.2	21.3	21.5

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	1,743	1,787	1,785	1,757	1,767	1,716	1,790
うち受取利息純額	1,044	1,087	1,085	1,065	1,063	1,020	1,071
うち手数料	699	700	700	692	704	696	719
営業費用および減価償却費	-1,151	-1,087	-1,081	-1,170	-1,158	-1,108	-1,101
営業総利益	592	700	704	587	609	608	689
リスク費用	-90	-88	-80	-80	-66	-85	-84
営業利益	502	612	624	507	543	523	605
営業外損益	1	1	2	2	1	1	0
税引前利益	503	613	626	509	544	524	605
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-35	-32	-35	-29	-29	-30	-33
フランス国内リテールバンキング税引前利益	468	581	591	480	515	494	572
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.4	7.5	7.5	7.7	7.8	7.8	7.9

(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く							
営業収益	1,734	1,742	1,776	1,644	1,712	1,770	1,813
うち受取利息純額	1,035	1,042	1,076	952	1,008	1,074	1,094
うち手数料	699	700	700	692	704	696	719
営業費用および減価償却費	-1,151	-1,087	-1,081	-1,170	-1,158	-1,108	-1,101
営業総利益	583	655	695	474	554	662	712
リスク費用	-90	-88	-80	-80	-66	-85	-84
営業利益	493	567	615	394	488	577	628
営業外損益	1	1	2	2	1	1	0
税引前利益	494	568	617	396	489	578	628
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-35	-32	-35	-29	-29	-30	-33
フランス国内リテールバンキング税引前利益	459	536	582	367	460	548	595
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.4	7.5	7.5	7.7	7.8	7.8	7.9

(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,680	1,725	1,721	1,700	1,709	1,658	1,730
営業費用および減価償却費	-1,122	-1,057	-1,053	-1,141	-1,130	-1,079	-1,074
営業総利益	558	668	668	559	579	579	656
リスク費用	-90	-88	-79	-80	-65	-86	-84
営業利益	468	580	589	479	514	493	572
営業外損益	0	1	2	1	1	1	0
税引前利益	468	581	591	480	515	494	572
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.4	7.5	7.5	7.7	7.8	7.8	7.9

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	797	816	823	834	810	813	816
営業費用および減価償却費	-432	-441	-438	-485	-440	-448	-445
営業総利益	365	375	385	349	370	365	371
リスク費用	-287	-295	-296	-283	-229	-230	-219
営業利益	78	80	89	66	141	135	152
営業外損益	0	0	0	1	0	0	0
税引前利益	78	80	89	67	141	135	152
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-5	-5	-5	-3	-3	-7	-5
BNL bc 税引前利益	73	75	84	64	138	128	147
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.3	6.4	6.4	6.4	6.4	6.3	6.4
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	784	804	811	824	800	801	805
営業費用および減価償却費	-424	-434	-431	-478	-433	-443	-439
営業総利益	360	370	380	346	367	358	366
リスク費用	-287	-295	-296	-283	-229	-230	-219
営業利益	73	75	84	63	138	128	147
営業外損益	0	0	0	1	0	0	0
税引前利益	73	75	84	64	138	128	147
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.3	6.4	6.4	6.4	6.4	6.3	6.4
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	842	844	838	817	833	837	841
営業費用および減価償却費	-611	-621	-598	-613	-612	-621	-604
営業総利益	231	223	240	204	221	216	237
リスク費用	-31	-43	-21	-51	-28	-41	-37
営業利益	200	180	219	153	193	175	200
関連会社損益	2	1	1	4	4	4	5
その他営業外項目	-1	-3	1	-5	1	2	3
税引前利益	201	178	221	152	198	181	208
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-14	-17	-16	-18	-15	-16	-17
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	187	161	205	134	183	165	191
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	807	804	802	780	798	801	804
営業費用および減価償却費	-591	-599	-579	-593	-593	-601	-584
営業総利益	216	205	223	187	205	200	220
リスク費用	-30	-42	-20	-52	-27	-41	-37
営業利益	186	163	203	135	178	159	183
関連会社損益	2	1	1	4	4	4	5
その他営業外項目	-1	-3	1	-5	1	2	3
税引前利益	187	161	205	134	183	165	191
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,166	1,235	1,178	1,267	1,240	1,244	1,231
営業費用および減価償却費	-518	-557	-547	-571	-589	-595	-645
営業総利益	648	678	631	696	651	649	586
リスク費用	-339	-378	-377	-432	-364	-374	-327
営業利益	309	300	254	264	287	275	259
関連会社損益	14	12	17	18	21	24	24
その他営業外項目	-1	0	1	67	24	4	0
税引前利益	322	312	272	349	332	303	283
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.9	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	5.1
欧州・地中海沿岸諸国							
営業収益	406	482	474	481	454	448	413
営業費用および減価償却費	-313	-330	-327	-345	-323	-333	-318
営業総利益	93	152	147	136	131	115	95
リスク費用	-48	-53	-71	-89	-66	-45	-90
営業利益	45	99	76	47	65	70	5
関連会社損益	26	28	21	17	15	13	20
その他営業外項目	0	110	-1	1	1	-1	1
税引前利益	71	237	96	65	81	82	26
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3
バンクウエスト							
営業収益	556	557	559	561	617	593	581
営業費用および減価償却費	-349	-346	-346	-356	-357	-341	-341
営業総利益	207	211	213	205	260	252	240
リスク費用	0	-12	-26	-33	-34	-32	-46
営業利益	207	199	187	172	226	220	194
営業外損益	1	1	3	-3	3	1	1
税引前利益	208	200	190	169	229	221	195
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0



(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
インベストメント・ソリューションズ							
営業収益	1,543	1,598	1,563	1,601	1,516	1,566	1,521
営業費用および減価償却費	-1,073	-1,064	-1,054	-1,136	-1,077	-1,069	-1,046
営業総利益	470	534	509	465	439	497	475
リスク費用	1	-14	-7	64	4	-3	-11
営業利益	471	520	502	529	443	494	464
関連会社損益	34	36	35	51	41	35	9
その他営業外項目	1	8	4	1	14	1	7
税引前利益	506	564	541	581	498	530	480
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	8.3	8.3	8.3	8.1	8.0	7.9	7.9
富裕層向け資産運用							
営業収益	671	702	702	738	682	710	706
営業費用および減価償却費	-520	-514	-509	-561	-523	-529	-522
営業総利益	151	188	193	177	159	181	184
リスク費用	0	-14	-3	54	3	1	-6
営業利益	151	174	190	231	162	182	178
関連会社損益	6	8	7	7	6	12	7
その他営業外項目	1	6	0	0	10	1	5
税引前利益	158	188	197	238	178	195	190
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9
保険							
営業収益	517	510	538	525	495	475	475
営業費用および減価償却費	-257	-255	-257	-274	-253	-241	-234
営業総利益	260	255	281	251	242	234	241
リスク費用	1	0	-4	2	1	-4	-5
営業利益	261	255	277	253	243	230	236
関連会社損益	28	29	28	41	35	23	1
その他営業外項目	0	2	4	0	-2	1	1
税引前利益	289	286	309	294	276	254	238
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	6.0	6.0	6.0	5.7	5.6	5.6	5.5
証券管理							
営業収益	355	386	323	338	339	381	340
営業費用および減価償却費	-296	-295	-288	-301	-301	-299	-290
営業総利益	59	91	35	37	38	82	50
リスク費用	0	0	0	8	0	0	0
営業利益	59	91	35	45	38	82	50
営業外損益	0	-1	0	4	6	-1	2
税引前利益	59	90	35	49	44	81	52
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5



(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
コーポレートバンキング・投資銀行							
営業収益	2,033	2,104	2,461	1,983	2,381	2,230	3,121
営業費用および減価償却費	-1,431	-1,405	-1,590	-1,525	-1,476	-1,407	-1,901
営業総利益	602	699	871	458	905	823	1,220
リスク費用	-62	-206	-80	-206	-190	-19	-78
営業利益	540	493	791	252	715	804	1,142
関連会社損益	9	3	15	4	15	6	14
その他営業外項目	3	1	0	1	-7	1	2
税引前利益	552	497	806	257	723	811	1,158
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	14.8	14.8	14.6	16.3	16.7	17.2	18.1
アドバイザーおよびキャピタル・マーケット							
(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
営業収益	1,264	1,257	1,682	1,150	1,576	1,207	2,249
営業費用および減価償却費	-1,032	-946	-1,179	-1,083	-1,068	-962	-1,474
営業総利益	232	311	503	67	508	245	775
リスク費用	15	-83	-14	13	-17	-94	37
営業利益	247	228	489	80	491	151	812
関連会社損益	3	-2	9	-1	2	2	9
その他営業外項目	3	1	0	-2	-7	1	2
税引前利益	253	227	498	77	486	154	823
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	7.3	7.3	7.0	7.9	8.1	8.3	8.8
コーポレートバンキング							
(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
営業収益	769	847	779	833	805	1,023	872
営業費用および減価償却費	-399	-459	-411	-442	-408	-445	-427
営業総利益	370	388	368	391	397	578	445
リスク費用	-77	-123	-66	-219	-173	75	-115
営業利益	293	265	302	172	224	653	330
営業外損益	6	5	6	8	13	4	5
税引前利益	299	270	308	180	237	657	335
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	7.5	7.6	7.6	8.4	8.6	8.9	9.3
コーポレート・センター（クレビエールを含む）							
(単位：百万ユーロ)	3Q13	2Q13	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
営業収益	-239	39	-63	-349	-366	218	-871
営業費用および減価償却費	-279	-172	-273	-333	-263	-152	-180
うち事業再編費用	-145	-74	-155	-174	-66	-104	-65
営業総利益	-518	-133	-336	-682	-629	66	-1,051
リスク費用	6	18	4	-32	62	2	-29
営業利益	-512	-115	-332	-714	-567	68	-1,080
関連会社損益	33	-22	-65	31	-15	31	76
その他営業外項目	10	-6	9	-439	-5	-48	1,676
税引前利益	-469	-143	-388	-1,122	-587	51	672



連結貸借対照表 - 2013年9月30日現在

(単位: 百万ユーロ)	2013年9月30日	2012年12月31日 ⁽¹⁾
資産の部		
現金および中央銀行預け金	66,257	103,190
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	-	-
トレーディング金融資産	172,817	143,465
貸出金およびレボ取引	168,290	146,899
純損益を通じて公正価値で測定する商品	65,703	62,800
デリバティブ金融商品	320,460	410,635
ヘッジ目的デリバティブ	9,807	14,267
売却可能金融資産	200,218	192,506
金融機関貸出金および債権	72,465	40,406
顧客貸出金および債権	610,987	630,520
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整額	3,932	5,836
満期保有目的金融資産	9,856	10,284
当期および繰延税金資産	8,675	8,732
未収収益およびその他の資産	108,821	99,207
保険契約者余剰金	-	-
関連会社に対する投資	6,762	7,031
投資不動産	710	927
有形固定資産	17,072	17,319
無形固定資産	2,510	2,585
のれん	10,278	10,591
資産合計	1,855,621	1,907,200
負債の部		
中央銀行預金	2,210	1,532
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	-
トレーディング金融負債	76,055	52,432
借入金およびレボ取引	227,049	203,063
純損益を通じて公正価値で測定する商品	44,116	43,530
デリバティブ金融商品	314,720	404,598
ヘッジ目的デリバティブ	13,980	17,286
金融機関預金	84,042	111,735
顧客預金	552,547	539,513
負債証券	173,137	173,198
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整額	1,002	2,067
当期および繰延税金負債	2,680	2,943
未払費用およびその他の負債	93,803	86,691
保険会社の責任準備金	152,035	147,992
偶発債務引当金	11,135	11,380
劣後債	12,499	15,223
負債合計	1,761,009	1,813,183
純資産の部		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	79,875	75,654
株主帰属当期純利益	4,705	6,564
資本金、利益剰余金、および株主帰属当期純利益合計	84,580	82,218
資本に直接認識される資産および負債の変動	2,064	3,226
株主資本合計	86,644	85,444
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	7,695	8,161
資本に直接認識される資産および負債の変動	272	412
少数株主持分合計	7,967	8,573
純資産合計	94,612	94,017
負債純資産合計	1,855,621	1,907,200

(1) 改訂 IAS 第 19 号に基づき修正再表示済み。



株主帰属純利益 14 億ユーロを達成	2
リテールバンキング事業	4
インベストメント・ソリューションズ事業	9
コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業	10
コーポレート・センター	11
財務構造	12
連結損益計算書	14
2013 年度第 3 四半期 - コア事業部門別業績	15
2013 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) - コア事業部門別業績	16
連結四半期業績の推移	17
連結貸借対照表 - 2013 年 9 月 30 日現在	24

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2013 年 4 月 18 日に、BNP パリバは、2012 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には次の 2 点が特に反映されています：(i) IAS 第 19 号「従業員給付」の改訂は、グループの 2012 年度税引前利益に対して 7 百万ユーロの押し上げ効果をもたらし、その調整額は該当部門および業務の営業費用へ再配分されました；(ii) 一時的にコーポレート・センターで計上していた項目を、部門および業務へ配分しました。これらの修正決算報告において、2012 年度に関わる数値は、あたかも取引が 2012 年 1 月 1 日に実行されたかのように表示されています。本プレゼンテーションは、修正された 2012 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。

予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはおらず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生じる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。